

埼玉県知事

上田きよしレポート

No.76号

発行 清友会

朝霞市東弁財3-13-6 207

TEL 048-466-7566

FAX 048-463-6138

◎ホームページアドレス

http://ueda-kiyoshi.com/

◎E-mail ueda@aya.or.jp

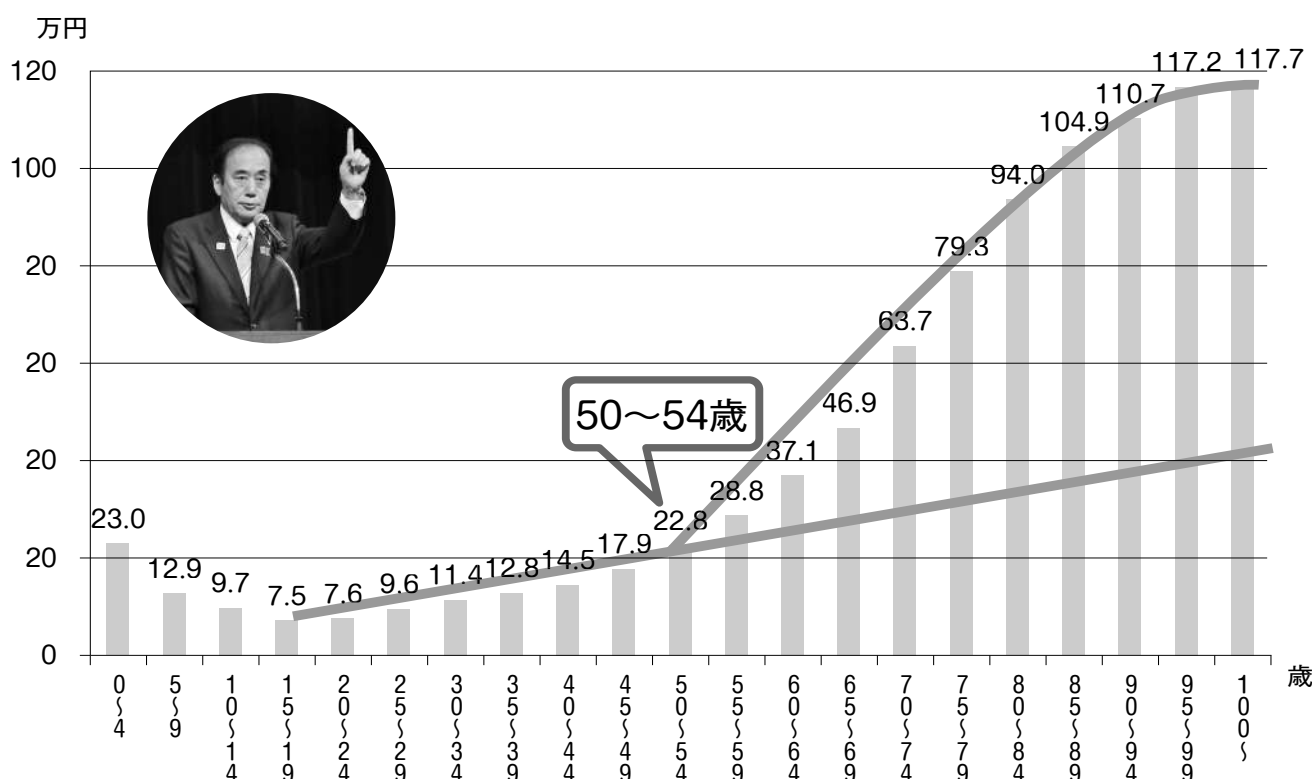
健康長寿社会へ!!

私はよく挨拶で、人口増加率で3位、GDP増加額で2位、直近10年間の企業の本社の入超が1位の「勢いのある埼玉県」と紹介しています。同時に高齢化のスピードも全国1位でこちらも勢いがあります。言って笑っていただいています。

それでも、団塊の世代が75歳以上になる2025年でも65歳以上の割合は28.2%で少ないほうから6番目、75歳以上も16.8%で少ないほうから6番目ということになります。ただし、日本全体で見るといくと一億人突破したのが1967年。この時の65歳以上の割合が7%、700万人です。今度一億人になりそうなのが2053年で、65歳以上は40%4000万人。風景が全く異なります。公共インフラなど全面的に変えなければならぬと思います。下図を見ていただければ一目瞭然ですが、医療費の一人あたりの費用が55歳から急カーブで上昇です。80歳からの年間医療費は年齢に10万プラスした金額がかかるようです。

世代間の負担を考えると少子高齢化社会のポイントには健康長寿につきます。生産年齢人口を国別に見ていきますと2040年に日本は世界主要国で

年齢階級別一人当たり医療費(年額)



出典：厚生労働省(H27年度 医療保険制度分)

最少の53%の割合になります。が、15歳から64歳でなく20歳から74歳までとすると逆に世界主要国最高の67%の割合になるという試算もあります。仕事でもボランティアでも元気な人は健康です。糖尿病も年間50～60万円といわれていますが透析患者になったら500～600万円ともいわれています。

高齢化社会での医療、介護費を極少化するための「健康立国」といって国家プロジェクトがあってもいいと思います。すでに、現在でも男女の平均健康寿命は74歳で世界2位ですが、限りなく平均寿命に近づきたいものです。

ちなみに、健康を支える医師・看護師・介護士は順調です。

医師は直近2年間の増加数、増加率とも第3位です。この10年でも増加数6位で増加率5位。

看護師、直近2年間の増加数2位、増加率1位です。10年間でみても増加数5位、増加率第1位です。

特別養護老人ホームの介護職員の直近の4年間では増加数全国1位、増加率1位です。

日本を支えるキーマンは高齢者という自覚が必要になってきました。

2018年活動
アルバム



6月1日 とことん訪問 (株)一心園 (深谷市)

6月1日 とことん訪問 (株)みかえり美人 ウエルビ (寄居町)



5月6日
ラグビーワールドカップ2019™
500日前イベント



5月21日 とことん訪問 (有)佐藤酒造店 (越生町)



5月21日
とことん訪問
くらしワンストップ
MORO HAPPINESS館
(毛呂山町)

◀ 5月21日 とことん訪問
パタニティ・マタニティハウス
(川越市)



「オピニオン」 「PPP/PFIの推進は 地方自治体の責任と判断で」



埼玉県知事
上田清司

昨年の衆議院選挙の与党公約に、「民間投資の喚起による成長力強化を目的としたPPP/PFIの積極的な推進」が掲げられた。

政府も、PPP/PFI、とりわけ公共施設等運営権制度を活用したPFI事業（コンセッション事業）については、法律改正や政府としての支援強化を進めるなど、積極的に取り組んでいる。

これは、「民間にできることは極力に民間で」という考え方に基づくもので、私もその通りだと思う。

政府は、「コンセッション事業の重点分野として、空港や上下水道等の八分野を挙げ、各分野何件といった数値目標を掲げている。今国会に提出されているPFI法改正案には、内閣総理大臣が公共施設等の管理者等に対し報告を求め、助言や勧告を行えるという規定が盛り込まれている。

数値目標やPFI法改正案の規定が、事業手法について政府が「これがいい」と押し付けることにならんとすれば、それには違和感がある。とりわけ地方自治体が運営する上下水道等の事業は、二十四時間三六五日絶え間なくサービスを維持する「責任」を地方自治体自身が負っている。

地方自治体は「責任と判断」を負いつつ、民間の創意工夫による提案を採用することで、「コスト・品質の両面で良好な住民サービスを維持することができる。

埼玉県では、「最少・最強の県庁」を目指し、民間への業務委託などによる簡素で効率的な組織整備を進めてきた。平成二十九年四月一日時点での県民一人当たりの職

員数は十一・二人で、全都道府県の中で最少、全国平均二十三・〇人の半分以上となっている。

埼玉県民の四分の三を占める約五百四十万人の下水道サービスを担う流域下水道事業では、「公」の体制は約二百二十人であり（これも全国で見ると最も効率的な体制である）、包括的民間委託、民設民営など様々な事業手法を採用し、維持管理部門だけでも五百人を超える「民」の力が活躍している。

今後とも、社会インフラの「管理者」として、最適な事業手法や「民」の役割分担を自らの責任で行っていく考えである。加えて、よりよいサービスを生み出す上で、「民」の競争が不可欠であることも忘れてはならない。

とりわけ、契約期間については、長期になればなるほど「民」の創意工夫の余地が高まるというメリットがある。一方、定期的に「民」の競争を促し、より良質なサービスを引き出すという観点も必要である。

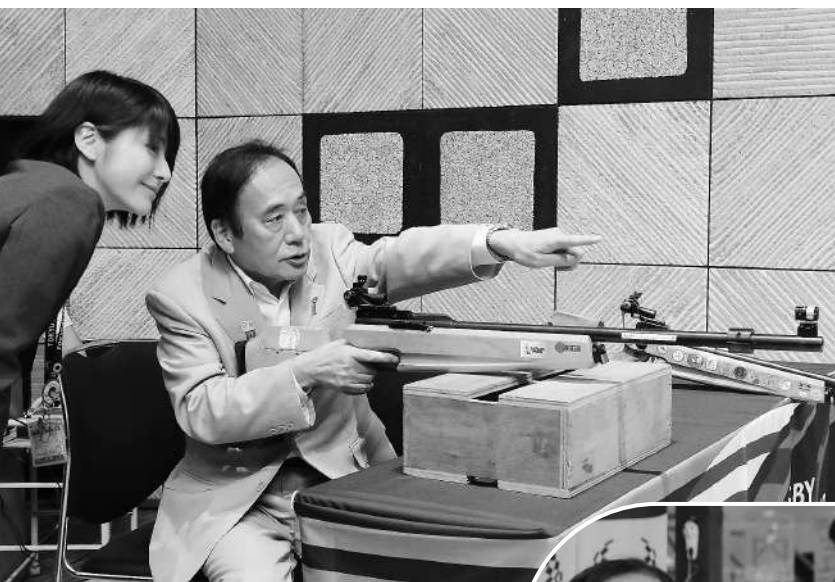
PPP/PFIは、ややもすると「民」に任せきりになる懸念がある。平時から「民」に任せきりになっていると、大規模地震や豪雨などの災害等への危機管理対応について、いざという時に「公」そのものが機能しなくなる。我々は改めて、サービスの提供プロセスにおける「責任と判断」を持つべきことを自覚すべきだと思つた。

時事通信社「オピニオン」

「ラムの要約」

（平成30年3月26日号）

6月1日 とことん訪問 深谷商店街連合会若女将の会



5月18日 射撃競技デモンストレーション



4月12日 イタリア競歩チーム
事前合宿歓迎レセプション



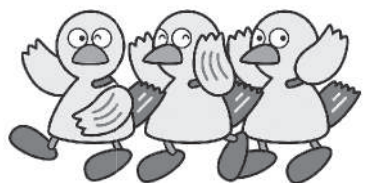
4月5日 平昌冬季パラリンピック金メダリスト
アルペンスキー 村岡 桃佳選手



5月1日 埼玉県町村会と東京23区特別区長会との連携協定締結式



4月16日 プライベートフットボール
全日本選手権大会優勝チーム
浦和ウラワーズ



©埼玉県コバトン

上田きよし埼玉県知事

全国知事会長就任!!

上田きよし埼玉県知事は、全国知事会において多くの知事から推薦され無投票で会長に選任されました。

早速、総理を初めとする主要閣僚と地方六団体との協議の場で六団体を代表する形で意見表明や国との意見交換をしました。

続いて、野田総務大臣や梶山地方創生担当大臣との意見交換や懇談をしました。

埼玉県はもとより、地方全体を代表する一人として地方の底上げのため活躍しています。



国と地方の協議 安倍総理と



国と地方の協議 安倍総理と



地方六団体と野田聖子総務大臣との協議



地方六団体と梶山弘志地方創生担当大臣との協議



地方執行三団体と総務省最高幹部との意見交換会



上田きよしプロフィール

- 昭和23年福岡県生まれ。
- 法政大学法学部卒、早稲田大学大学院政治学研究科修了。
- 新自由クラブ立党に参画、同党政策委員、全国青年局長、政策科学研究所政策委員。
- 1980年新自由クラブより衆議院議員選挙出馬、4連敗するが不屈の闘志で5度目の1993年初当選、以後3期連続当選。
- 衆議院議員2期目は小選挙区選出300人中、議員立法・質疑回数1位。3期目選挙直前、小泉純一郎(当時、総理)をして「俺は誰が相手でも勝つ自信はあるが、上田清司だけはご免こうむる」といわしめた。「選挙の鉄人」という異名もある。
- 平成15年8月、民主党を離党し、無所属で知事選に出馬、2位に約ダブルスコアで当選。
- 平成19年、平成23年、平成27年と知事選当選、現在4期目。
- この間、総務省顧問、拓殖大学大学院客員教授、内閣地域主権戦略会議委員、全国知事会東日本大震災復興協力本部長など歴任。
- 現在、全国知事会会長。

衣・食・住・遊をサポートする

ベルーナ

株式会社ベルーナ

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号

代表電話：048-771-7753

ホームページ：<http://www.belluna.co.jp/>

ネットショップ：<http://belluna.jp/>

